

平成29年度第1回天童市教育委員会協議会について（報告）

| | |
|------|---|
| 日 時 | 平成29年12月19日（水） 午前10時～11時20分 |
| 場 所 | 教育委員会 第一会議室 |
| 出席委員 | 相澤一彦教育長、井上正信委員、大貫紀代子委員、 本田孝之委員、村山晴香委員 |
| 欠席委員 | なし |
| 出席者 | 佐藤雅教育次長兼教育総務課長、江川久美子学校教育課長、 武田文敏生涯学習課長、萩生田伸悟学校給食センター所長 事務局（教育総務課職員） |
| 協議事項 | 平成30年度教育委員会重点施策について |

<教育長あいさつ>

間もなく今年が終わろうとしています。職員の交通事故や体調を崩した児童生徒のグループがあり心配しましたが、大きな事案にならず、大過なく済んだ1年かと思えます。皆様にも感謝申し上げます。

私なりに教育委員会各課の今年度の成果と課題、方向性についてお話しいたします。

教育総務課が行う学校のICT機器の管理や活用について、学校では先々どのように変わるべきなのか、予算化を考えながら将来を見据えていくことが大事になってくると考えています。

学校給食センターは何と言っても、食の安全安心です。様々対応していただきながら問題なく進んでいます。また、特色ある食育については、天童の特徴を生かしながら続けていきたいと思えます。

学校教育課では、新学習指導要領が小学校は2020年から、中学校は翌年からと言われていますが、道徳の教科書を今年採択していただいたように、実は来年から始まることとなります。これをどのように軌道に乗せていくか、結論は学力向上であるが、英語教育も含め本質的な教科学習による学力向上を中心に考えていかなければならないと思えます。

生涯学習課では、日本のどこでも起こっている地域衰退という課題に対して、本市は公民館活動を活発にしているところです。これからどのように抵抗し、発展的に変容していくことが、地域を繋ぐことになるのかを丁寧にしていくべきであると考えています。1つのヒントとして、小中学生の勉強とスポーツ（部活）との両立に、地域社会の一員として生きるという視点を加えていく必要があると思えます。道路の清掃や草刈りを一緒にしよう等、たくましく力のある子ども達には地域の中に溶け込んでもらうことが大事だと考えています。関係部署が連携し、向かうべき方向性を先取することを望んでいます。

もう一つお話ししたいのは「小松博道先生を悼む」について紹介します。校長会誌に寄稿したものです。小松先生とは、私が教頭として酒田市の中学校に

赴任し、当時の教務主任であり、私が多くを学んだ相手です。この度、現職の校長で亡くなったのです。大変惜しい人材を亡くした思いです。

彼はお寺に生まれた方で、ある時、私が電話していて相手に繋がらずにイライラしていたら「それは相手が悪いわけでも、教頭先生が悪いわけでもありません。縁というものがあり、自分の意思だけでは決められないことがあるんです。これはどうにもならないことであり、逆に、縁があれば繋がるということがいっぱいあるんです。」と言われ、彼の人としての大きさを感じたものです。

ある時に小松先生が珍しくイライラしていました。地元で県中総体があり、駐車場係を束ねておりましたが、「無事に終わったけどのう、ほれ、みんな何か不満があって、ビニールテープが足りないとか、表示が少ないとか、いろいろ言うのよ」私が「ひとは、そんなものでしょう」といさめました。ところが小松先生は引き下がらず、「それでいいのですかのう、紐が足りなければ自分で持ってくる、表示不足を声で補う、それが係の意味での、駐車場係になったら、それこそ日本一の駐車場係を目指すべきでの、そういう姿勢なら文句などないのよ、の」強い口調でした。それ以降、私はずーっとこのことを思い考えながら、仕事をしてきました。小松先生から仕事に取り組むべき姿勢を学んだのです。これまで、管理職になるつもりがなかった小松先生が、一緒にいる間に管理職を目指すことになったことが、とてもうれしく思いました。

むすびに、寒さが増してまいります、体調に留意され、お互い楽しく元気に前向きに進んでいただくことを願います。

< 協 議 >

協議事項 平成30年度教育委員会の重点施策について

協議内容

大貫委員：生涯学習課関連で、先日の立谷川の遺跡について報道があり、天童市でも子ども達に見てもらえる機会を作ってはどうか。

生涯学習課長：文化財指定となっているものではありませんが、公民館等を会場に説明会を開催するなど見てもらうことを検討したい。

本田委員：教育総務課の①でグラウンド改修整備工事が行われているが、改修後に意見や感想などの声が寄せられていますか。

教育次長：この事業は主に暗渠排水工事となります。雨が降るとしばらく使えなかったが、工事後は早く使えるようになって喜んでいるとの意見があります。一般の方よりも先生方から多い話です。

井上委員：学校教育課の①いのち育みプロジェクトの中に教員の指導力向上のために、生徒指導研修会を学校毎行うとあります。

今年度の学校訪問の際に、今後の学級経営の不安を感じたことと、子どもの掌握に苦慮する様子があった。教科指導とともに生徒指導の研修は重要と思っています。具体的にどのように進めていくのか。

学校教育課長：QUアンケートの結果をよく分析し、教員の指導力向上のための生徒指導研修会をQUアンケートに合わせて年2回実施する。春の研修後に実施したものが、秋のアンケートに成果としてどのように現れるかをまた分析し、2回目の研修を実施し、いじめ防止を含めた、より良い学校経営につなげるようにしていきたい。

村山委員：学校教育課の③豊かな「こころ」育みプロジェクトの中に「部活動サポート事業」とありますが、対象は運動部だけでしょうか。

学校教育課長：運動部だけとは限っておりません。この事業は顧問の先生がいない時間帯、特に部活動の始まりと終わりの時間にその様子を見守っていただくことで、子ども達の安全を確保したい考えです。

本田委員：学校教育課の健康教育として、貧血検査の時にピロリ菌検査も実施予定ですが、貧血検査の実施率はどれくらいですか。

また、ピロリ菌検査だけ実施希望は可能でしょうか。

学校教育課長：今年度は市内で80.1%の受診率です。希望者に実施しています。

ピロリ菌検査は血液を基に検査する方法ですので、血液検査に加えてピロリ菌の検査も希望することができるものとなります。

大貫委員：貧血検査の結果、貧血である場合の食事などのアドバイスはどのように行っていますか。

学校教育課長：貧血との結果がでた子には、養護教諭等から健康教育として、改善に向けた指導をすることになります。

教育長：協議事項は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので協議を終了します。

< 報 告 >

・第1回いじめ問題専門委員会の開催内容について

「天童市いじめ防止基本方針」改定のポイントと改定の経緯、専門委員会名簿で医療分野の人選が未定であることを報告。

教育長：他には無いようですので、第1回教育委員会協議会を終了します。